

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公表番号】特表 2001-503620(P2001-503620A)

【公表日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願平 10-520446

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

// A 6 1 K 31/7125

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 19/02

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7125

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 19/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

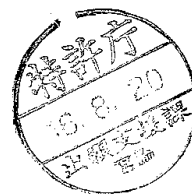
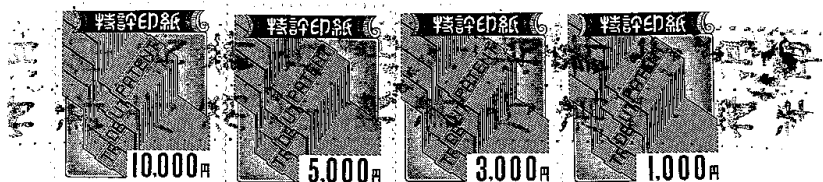
【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】補正の内容のとおり

【訂正方法】変更

【訂正の内容】



誤 訳 訂 正 書

平成16年8月19日

(19,000円)

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第520446号

2. 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国 カリフォルニア州92008、ダブリュ. カー
ルスバッド、ローカー アベニュー ダブリュ. 2732

名 称 ヒサミツ ファーマシューティカル コンパニー インコーポレ
ーテッド

3. 代 理 人

住 所 東京都新宿区本塩町19番地 AOIビル

電話 (5366) 9961

氏 名 弁理士 ~~(10284)~~ A284 葛和 清司

4. 訂正の対象 請求の範囲

5. 訂正の内容 別紙のとおり

6. 訂正の理由等

訂正の理由1)

請求の範囲第12項2行の「及び・・・オリゴヌクレオチドである、」の記載
を「及び・・・オリゴヌクレオチドからなる群から選択される、」と訂正する。

この箇所の国際段階における1998年10月12日付手続補正書の表記は、
International Preliminary Examination Report の Amended Sheet 10 頁 (訂正の
理由1) の説明に必要な資料1~2行) には「is selected from the group consisting

of」と記載されていたところ、誤訳訂正前は錯誤してこの部分を翻訳し忘れた。該資料からもこれは明らかであるから、上記のとおり訂正する。

訂正の理由 2)

請求の範囲第 1 5 項 2 行の「請求項 1 4 に記載のオリゴヌクレオチド」の記載
「請求項 1 4 に記載のトリプレックス」と訂正する。

この箇所の国際段階における 1 9 9 8 年 1 0 月 1 2 日付手続補正書の表記は、
International Preliminary Examination Report の Amended Sheet 1 0 頁（訂正の
理由 2）の説明に必要な資料 1 1 行）には「The triplex of claim 14」と記載さ
れていたところ、誤訳訂正前は錯誤して翻訳していた。該資料からもこれは明らか
であるから、上記のとおり訂正する。

7. 添付書類の目録

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 別紙（請求の範囲） | 1 |
| (2) 訂正の理由の説明に必要な資料 | 2 |

以上

別紙

請 求 の 範 囲

1. 約5から50ヌクレオチドの長さを有し、トリプレックスを形成するために、2本鎖ヒトIL-15遺伝子の転写領域のポリプリン-ポリピリミジン領域に、無細胞反応混合物中で結合する、オリゴヌクレオチド。
2. オリゴヌクレオチドがDNAである、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。
3. オリゴヌクレオチドがホスホジエステル、ホスホロチオエート、メチルホスホネート、及びメチルホスホノチオエートオリゴヌクレオチドからなる群から選択される、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。
4. オリゴヌクレオチドがホスホジエステルオリゴヌクレオチドである、請求項3に記載のオリゴヌクレオチド。
5. ポリプリン-ポリピリミジン領域が配列番号1及び配列番号2からなる群から選択される配列を含む、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。
6. オリゴヌクレオチドが配列番号3から配列番号6からなる群から選択される配列を含む、請求項5に記載のオリゴヌクレオチド。
7. オリゴヌクレオチドがポリプリン-ポリピリミジン領域のポリプリン鎖に結合することができる、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。
8. オリゴヌクレオチドがポリプリン鎖に平行方向に結合することができる、請求項7に記載のオリゴヌクレオチド。
9. オリゴヌクレオチドがポリプリン鎖に逆平行方向に結合することができる、請求項7に記載のオリゴヌクレオチド。
10. ポリプリン-ポリピリミジン領域を有する2本鎖ヒトIL-15遺伝子の転写領域、及び約5から50ヌクレオチドを有するオリゴヌクレオチドを含む、トリプレックス。
11. オリゴヌクレオチドがDNAである、請求項10に記載のトリプレックス。
12. オリゴヌクレオチドがホスホジエステル、ホスホロチオエート、メチルホスホネート、及びメチルホスホノチオエートオリゴヌクレオチドからなる群から選択される、請求項10に記載のトリプレックス。

13. オリゴヌクレオチドがホスホジエステルオリゴヌクレオチドである、請求項12に記載のトリプレックス。
14. ポリプリン-ポリピリミジン領域が配列番号1及び配列番号2からなる群から選択される配列を含む、請求項10に記載のトリプレックス。
15. オリゴヌクレオチドが配列番号3から配列番号6からなる群から選択される配列を含む、請求項14に記載のトリプレックス。
16. オリゴヌクレオチドがポリプリン-ポリピリミジン領域のポリプリン鎖に結合することができる、請求項10に記載のトリプレックス。
17. オリゴヌクレオチドがポリプリン鎖に平行方向に結合することができる、請求項16に記載のトリプレックス。
18. オリゴヌクレオチドがポリプリン鎖に逆平行方向に結合することができる、請求項16に記載のトリプレックス。

訂正の理由 1) 及び 2) の説明に必要な資料

PCT/US 97/15397
IPEA/US 12 OCT 1998

12. The triplex of claim 10, wherein the oligonucleotide is selected from the group consisting of phosphodiester, phosphorothioate, methylphosphonate, and methylphosphonothioate oligonucleotides.

5 13. The triplex of claim 12, wherein the oligonucleotide is a phosphodiester oligonucleotide.

14. The triplex of claim 10, wherein the polypurine-polypyrimidine region comprises a sequence selected from the group consisting of Sequence ID Nos. 1 and 2.

10

15. The triplex of claim 14, wherein the oligonucleotide comprises a sequence selected from the group consisting of Sequence ID Nos. 3 through 6 .

15

16. The triplex of claim 10, wherein the oligonucleotide is capable of binding to the polypurine strand of the polypurine-polypyrimidine region.

17. The triplex of claim 16, wherein the oligonucleotide is capable of binding to the polypurine strand in a parallel orientation.

20

18. The triplex of claim 16, wherein the oligonucleotide is capable of binding to the polypurine strand in an antiparallel orientation.